1953年6月16日　第三種郵便物認可

2022年 5 月16日（月）　3112号　隔週月曜日発行

民主青年新聞

●ホームページ　www.dylj.or.jp　●Eメール　minsin@dylj.or.jp

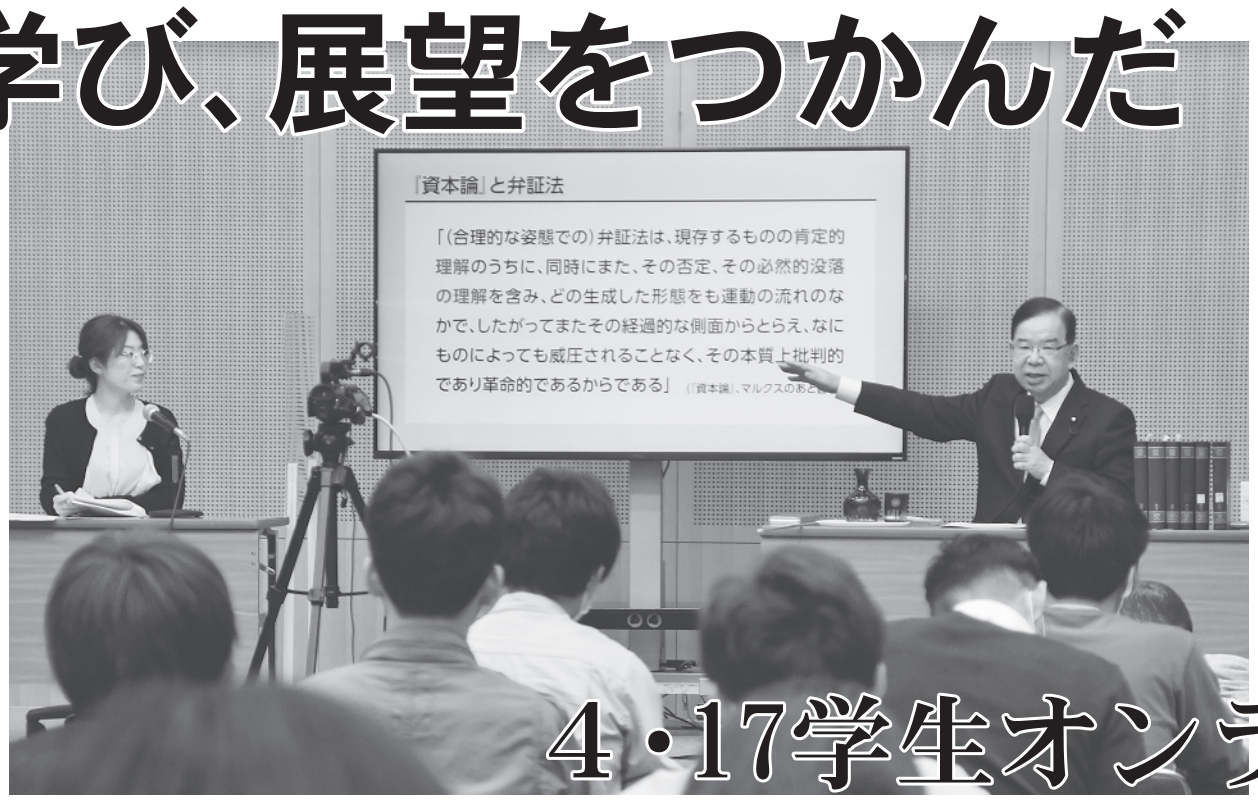
見どころ

じっくり研究できる環境を　理研600人雇止め（３面）

９条守ってこそ平和が守れる　憲法施行75年いま改憲について考える（６、７面）

ロシアは国際社会の総意に従え―覇権主義とたたかってきた民青同盟（10、11面）

学び、展望をつかんだ



▶日本共産党の志位和夫委員長の話に熱心に耳を傾ける参加者たちが会場を埋めた（４月17日）

4・17学生オンラインゼミ

4月17日、民青同盟中央委員会は「社会は変わるし、変えられる　―志位さんと語る学生オンラインゼミ第2弾　テーマ：科学的社会主義」を開催しました。本部会場は多くの学生でにぎわい、全国各地でも視聴会が行われました。日本共産党の志位和夫委員長が全国の学生から寄せられた質問に答えながら、科学的社会主義を縦横に語りました。参加した各地の学生の受け止めを紹介します。（文中名前は仮名、栗山さつき記者）

弁証法知ってワクワク

埼玉　森田さん（大学１年）

受験の時に民青に出会い加盟しました。いろいろな社会問題に興味関心があり、民青の活動を通じて視野を広げたいと思いました。

今回の話で最も印象に残ったのは「弁証法」でした。弁証法で一番驚いたことは「物事を変化・運動・発展の中で捉える」ということで、自分はそういう考え方をしたことはありませんでした。今の世界の状況も、今だけを見ると良くない側面だけが見えることもありますが、過去の歴史からさかのぼって捉えると、良い方向に世界が進んでいるのだと、弁証法を通じて学べました。大学の講義が始まりましたが、教授の話を「この人は歴史をこう捉えているんだな」と考えながら聞いています。弁証法を知って自分のものの見方が変わったことがはっきり分かってワクワクし、好奇心が出てきました。また、これまで社会主義についてあまり良くないイメージを持っていましたが、話を聞いて、偏見がなくなりました。

弁証法が身に付くと、社会は変わるということに確信が持てるようになると思います。今まで政治に関して距離を置いたり目を背けてきたけど、おかしいことにはおかしいと言いたい。一人の有権者として、今後の日本を担う一人として、正しい判断をしていけるように民青での活動をがんばりたいです。

学びながら行動していきたい

神奈川　石田さん（大学２年）

『マルクスと友達になろう』パンフや班会で科学的社会主義を勉強したことはありましたが、今日の話を聞いて分からないところもあったので、これからも学んでいきたいと思いました。特に弁証法については初めて聞いたので勉強になることが多かったです。大学の勉強や社会のことについて学んでいくためにも、１つの意見や１人の考えだけで物事を判断するのではなく、さまざまな意見や事実を調べて自分の考えを深めていくことが重要だと思いました。

また、科学的社会主義はマルクス・エンゲルスが完成させたわけではなく、時代と共に進化していくし、新しい課題の発見につながるというところが印象に残りました。現在、格差や環境問題などが深刻ですが、これらの課題の解決に向けて科学的社会主義を勉強しながら何か行動していきたいと感じました。ロシアのウクライナ侵略に対しても歴史に触れながら学ぶことができて良かったです。覇権主義についてもっと学びたいと思いました。

自然科学にも通じる考え方

東京　杉下さん（大学３年）

私が初めて科学的社会主義に触れたのは３年くらい前です。専攻が理系なのですが、唯物論と弁証法という、自然科学とも通じるようなものの見方が存在することを知りました。志位さんが話の中でいろいろと説明していたように、理系の勉強の中でも科学的社会主義のものの見方が役に立つということが、物質の階層性の話などから具体的に説明されていて、これも範囲に入っているのかと、とても面白く感じました。

資本主義社会の中で、大量生産・大量廃棄は本質的に起きるものです。科学的社会主義は、この事態にどう対応するかという一つのアンサーになっているのだと思いました。資本主義社会の発展と共に矛盾（むじゅん）も生まれ、そこから運動が発展していきます。民青同盟が科学的社会主義を力に運動をすることで、知見、発見、経験が得られ、そのことが認識をさらに発展させていくものであると分かりました。私自身、これまで運動に関わる中で吸収できたものがあると実感しています。

一方で理系なこともあり、社会に対する見識については学びがまだまだ必要だと思いました。志位さんが話の中で紹介していたヘーゲルなどを勉強して、運動も重ねつつ見識を深められればと思います。

企画はYouTubeで視聴できます。
https://youtu.be/gLXycLMln_0

オンラインゼミに寄せられた質問一覧

＜はじめに＞
志位さんと科学的社会主義の出会いとは。

＜事前に寄せられた質問＞
①「科学的社会主義」と「マルクス主義」は違うんですか。「マルクス主義は古い」と言われることもありますが、今学ぶ意味は何ですか。

②「科学的社会主義」といいますが、「科学的」とはなんですか。

③弁証法とはなんですか。志位さんは、弁証法をどのように身につけたんですか。

④志位さんは大学で工学部だったと知りました。理系の勉強のなかで科学的社会主義が役に立つことはありますか。

⑤マルクスといえば『資本論』が有名ですが、『資本論』は何がすごいんですか。

⑥旧ソ連や中国などは、自由がない、表現規制など、イメージが悪いです。社会主義や共産主義の理論にはそういった問題があると思うのですが、どうですか。

⑦「社会主義」「共産主義」のイメージがわきません。資本主義の中になにかヒントみたいなものはありますか。また、社会主義はいいけど共産主義は嫌だという人がいます。それぞれの違いを教えてください。

⑧ロシアによるウクライナ侵略について、科学的社会主義の見地から、どういった分析ができるでしょうか。可能なら、マルクスの文献などと関連付けて教えてください。

⑨しっかり科学的社会主義を勉強したいです。科学的社会主義を勉強するにあたってのコツなどがあれば教えてください。

⑩気候危機や格差と貧困は今や世界中の人の命をおびやかしていて、資本主義社会の矛盾は極まっていると思います。マルクスの理論が正しいなら、どうしてまだ社会主義にならないのですか。

＜当日質問＞
①社会主義になったら生産力が落ちるのでは？という意見があります。その一方で、社会主義は「脱成長社会」だという主張もあります。社会主義になったら、生産力の発展は重視されなくなるのでしょうか。

②歴史の必然という言葉が出てきましたが、歴史に必然があれば偶然もあるのですか。

発行所
日本民主青年同盟中央委員会
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-20-2
電話(03)5772-5701　FAX(03)-5772-5702

日本民主青年同盟中央機関紙

定価（税込み）月680円　〒130円　1部340円
郵便振替00180-4-106690